

CONSEO 

衛星地球観測コンソーシアム
(CONSEO)
活動レポート

Tanegashima Space Center 

2024年度 上半期

2024年度上半期の活動概要

会員にOpen

Close

■ 政策提言・連携推進策の議論

衛星地球観測の戦略等の議論のための
の会議体

幹事会

マイクロ波放射観測WG

光学・SAR観測WG

衛星地球観測
利用分科会

科学と環境共生
分科会

■ CONSEO連携タスクフォース

衛星地球観測の開発利用促進のための
産学官連携活動

社会経済学ワークショップ
(WS)

地球デジタルツインWS

アカデミー検討

日台宇宙経済共創WS

日カンボジアスマートシティ
交流シンポジウム

種子島宇宙センター研修

気候変動シリーズ
※一部一般参加可のイベント

マッチング

日カンボジア経済共創
交流シンポジウム

モンゴル・イノベーション・
ミッション

■ アウトリーチ活動

衛星地球観測の価値を広く社会に発信。
事務局が支援し定期的、継続的に行う活動。

ALOS-4打ち上げPV

グッズ制作

※2024年度の会合は
10月以降に開催予定

第5回総会

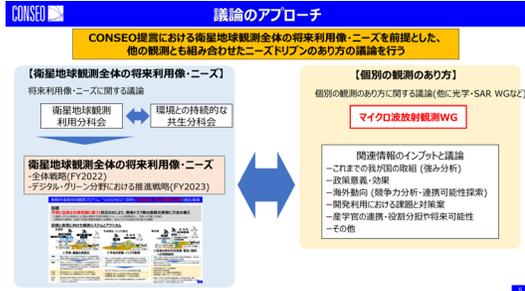
2024年度上半期の活動 政策提言・連携推進策の議論



マイクロ波放射観測WG

気象、防災・国土強靱化、気候変動対策、農林水産業、北極政策、海洋航行安全、ビジネス創出、(安全保障)等の、我が国のマイクロ波放射計による観測の利用分野について、さらなる社会実装を促進するための課題をワーキンググループでの活動を通してCONSEO会員と共に識別し、その対策案を議論する。

開催日	会合	会場参加	オンライン参加
9/26(木)	第1回会合	-	97名
12/5(木)	第2回会合	-	



衛星地球観測利用分科会

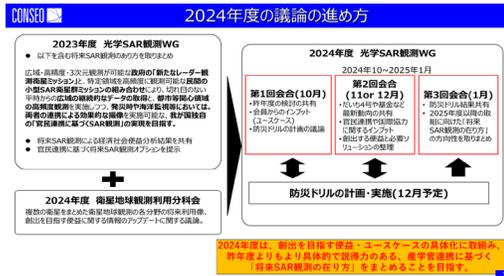
我が国の衛星地球観測の社会実装や産業競争力強化に関して、推進戦略や推進すべき研究開発・取組等についての政府に対する提言の検討、各種取組の実現に向けた方策、政策上議論が求められる項目等について議論する。

開催日	会合	会場参加	オンライン参加
10/31(木)	第1回会合	-	
12/23(月)	第2回会合	-	

光学・SAR観測WG

我が国の官民連携に基づく光学・SAR観測衛星群による観測とその利用について、価値の最大化に向けたあり方について議論する。我が国の官民連携に基づく光学・SAR衛星による観測の利用分野について、社会実装を促進するための課題を識別し、その対策案を議論する。

開催日	会合	会場参加	オンライン参加
10/4(金)	第1回会合	-	
12/3(火)	第2回会合	-	
1/27(月)	第3回会合	-	



科学と環境共生分科会

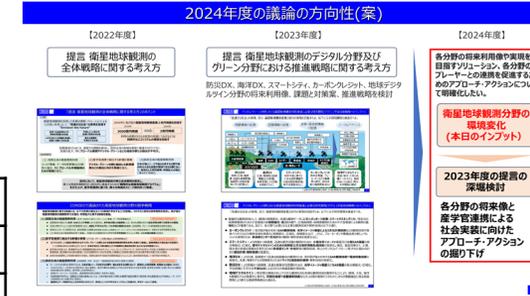
環境との持続的な共生により国民の生活を守り、経済活動を支える国益に資するため、気候変動などの地球規模課題・社会課題への対策等に資する衛星地球観測について科学的成果を産業・公共の場で最大限活用するための戦略および推進方策の具体化を産学官で議論する。

開催日	会合	会場参加	オンライン参加
11/1(金)	第1回会合	-	
12/25(水)	第2回会合	-	

防災ドリル準備委員会 (限定)

2023年度光学SAR観測ワーキンググループにて、能登地震後の観測およびデータ提供にかかる実績を共有した結果、官民衛星が連携して災害時により役に立つように備える必要があるとされ、災害発生時に我が国の官民衛星が連携した観測体制や一連のプロセスを確認する防災ドリルについて、CONSEO防災ドリル準備委員会(座長:三浦名誉教授/山口大学)を構築し議論を行った。

開催日	会合	会場参加	オンライン参加
8/8(金)	第1回会合	-	32
9/6(火)	第2回会合	-	34
9/27(月)	第3回会合	-	32



青文字をクリックすると掲載ページにアクセスできます。

2024年度上半期の活動 CONSEO連携タスクフォース

社会経済学ワークショップ (WS)

開催日 : 2024年5月14日(火) 15:00~17:00
会場 : X-NIHONBASHI Tower
参加者数 : (会場) 36名、(オンライン) 93名

【基調講演】

- Wellbeing of city
 - 九州大学 都市研究センター長 馬奈木 俊介 教授
- 経済学における衛星画像データの利用について
 - 一橋大学 イノベーション研究センター 中島 賢太郎 教授
- Monitoring regional development in data-poor countries: Integrating satellite images, socioeconomic surveys, and machine learning
 - 名古屋大学 大学院国際開発研究科 国際開発協力専攻 Carlos Mendez 准教授
- 人文社会研究における人工衛星データ利用拡大に向けて：リモートセンシングの専門家に求められることは
 - ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) Senior Economist Souknilanh Keola氏
- Lawrence Friedl氏 (NASA) からのビデオメッセージ (15分) NASAでの取り組みについて

【意見交換会】

パネリスト：馬奈木 俊介 教授、中島 賢太郎 教授、Carlos Mendez 准教授、Souknilanh Keola氏
モデレーター：杉田尚子 参事 (JAXA)



地球デジタルツイン ワークショップ

開催日 : 2024年7月4日(木) 15:00~17:00
会場 : X-NIHONBASHI Tower
参加者数 : (会場) 41名

【基調講演】

- DXで作る保険の未来
 - 損害保険ジャパン(株) 執行役員 データドリブン経営推進部長/CDaO 村上明子氏
- 対話形式による地球デジタルツイン
 - 千葉大学 国際高等研究基幹 教授 小槻峻司 氏
 - JAXA地球観測研究センター 主任研究開発員 喜名朋子 氏
 - CONSEO事務局 松尾尚子

【ユースケース紹介】

- 衛星・IoTを利用したプラットフォームの検討 (講演資料②)
 - 伊藤忠商事株式会社 DXプロジェクト推進室 福原大輔様

【グループワーク】

- ① 地球デジタルツインが存在する未来社会について (DX化や生成AI活用が進む未来社会について検討)
- ② ユースケースの検討 (サプライチェーン、将来予測、社会経済評価、気候変動評価など)
- ③ 発表 (3分×5グループ)



種子島宇宙センター研修

開催日 : 2024年5月23日(木)~5月24日 (金)
実施場所 : 鹿児島市内及び種子島宇宙センター
参加者数 : 計47名 (CONSEO会員 33名、1日目のみ参加者 14名)

【1日目：地球観測特別研修 (鹿児島市内)】

- 開会挨拶 (CONSEO 事務局 松尾尚子)
- 来賓挨拶 (文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 企画係長 清家 慎一郎氏)
- 基調講演 (60分)
 - ALOS-4 について (JAXA ALOS-4 プロジェクトマネージャ 有川喜久氏)
 - 宇宙産業・衛星データがもたらす地域活性化 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 山本雄一郎氏)
- 鹿児島県における宇宙開発への取組 (鹿児島県 新産業創出室 堀口俊尚氏)
- 事例紹介
 - JAXA の地球観測衛星と利用事例について (JAXA 村木祐介氏)
 - 会員企業による衛星データ利用事例の発表 (CONSEO会員7社)
- 「だいち4号」の自分ゴト化ミニワークショップ
- 事務局イントロ(5分)
 - ワーク①: だいち4号の利用ニーズ、活用・連携したシーズを考える
 - ワーク②: 面白そうな利用例を考える
- 閉会挨拶 (鹿児島県 新産業創出室 堀口俊尚)



【2日目：JAXA種子島宇宙センター】

- ご挨拶・鹿児島宇宙センター概要説明
- 宇宙科学技術館
- 記念写真撮影
- 竹崎総合指令棟
- 竹崎発射管制棟
- ロケットの丘展望所
- ロケットガレージ (H-IIロケット7号機機体)
- 第2射点 (LP2)
- SFA3 (第3衛星フェアリング組立棟)



気候変動シリーズ ※一部一般参加可のイベント

【第1回：気候変動と国際協力 Part 1】
実施日：2024年7月19日 (金) 11:00 - 11:30
実施場所 : 丸ビルホール&カンファレンス Room2
参加者数 : (会場) 37名、(オンライン) 65名

【プログラム】

- 開会挨拶：前島 弘則 (JAXA地球観測統括)
- CONSEO気候変動シリーズについて：松尾 尚子 (CONSEO事務局/JAXA)
- 基調講演：カレン・サンジェルマン (NASA地球科学部長)
- 世界における気候変動の動向：小野田 勝美 (JAXA調査国際部・部長)
- 気候変動対話 **進行**：落合治 (JAXA衛星利用運用センター技術領域主幹)
 - カレン・サンジェルマン (NASA地球科学部長)
 - 角南 篤 (笹川平和財団理事長/CONSEO会長)
 - 中村 仁威 (外務省大臣官房審議官)
- 閉会挨拶：沖理子 (JAXA地球観測センター長)



【第2回：気候変動ワークショップ「Climate Fresk」】
実施日：2024年8月1日 (木) 14:00 - 17:30
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER
参加者数 : (会場) 22名

【プログラム】

- 開会挨拶 (松尾尚子 (CONSEO事務局/JAXA))
- アイスブレイクと紹介
- 【理解する】気候変動とその影響を理解する (カードゲーム方式)
- 【創造して整理する】知識の整理整頓
- 休憩
- 【感情の共有】自分の感情を受け入れて言語化する
- 【議論とアクション】アクションについて想像し、計画し議論する



【第3回：気候変動をギャル式で考えるワークショップ】
実施日：2024年9月20日 (金) 14:00 - 17:00
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER
参加者数 : (会場) 17名

【プログラム】

- テーマ：「衛星地球観測でアゲな未来をつくるには～? 🌍🚀」
- 開会挨拶 (松尾尚子 CONSEO事務局)
- アイスブレイク・自己紹介/あだ名贈呈
- インプット・「未来の世界ってどうなっちゃうの～?」
- プレスト・「衛星観測のらしさって～?」
「ワクワクする未来の生活って～?」
- ワーク・「衛星地球観測でアゲな未来をつくるには～? 🌍🚀」
- エンディング



2024年度上半期の活動 CONSEO連携タスクフォース



CONSEOアカデミー検討

中長期的な戦略的視点での人材育成を目指した衛星データへの関心喚起から理解を深める事が可能なカリキュラム・講座提供を目指し、具体的な育成事業内容を検討する。

第4回CONSEOアカデミー会合

1. CONSEOWebサイト 人材育成情報ページの整備
2. もくもくスクール2024の開催

開催日：2024年8月26日～9月4日

開催方法：メール開催

参加者数：29名



人材育成情報ページ案

青文字をクリックすると掲載ページにアクセスできます。

マッチング

衛星地球観測分野の様々なプレイヤーが集うCONSEOのコミュニティとしての強みを会員が享受できるよう、「CONSEO会員同士がつながる」ことを目的としたツール/システムを作成・導入を検討する活動

1. 会員検索の更新

会員検索は、掲載を希望した会員のスキル情報を検索できるようにしたもので、CONSEOWebサイトに掲載している。2023年に87会員で運用を開始。今年度は6回(7、8、10、11、1、3月)更新を行う。上半期の7月と8月に18会員を追加し、計105会員のスキル情報が検索できるようになった。



会員検索

2. カオスマップの更新

掲載を希望した会員のロゴを業種別に掲載したもの。今年度は年2回(9月、3月)の更新を行う。9月に18会員を追加し、計105会員のロゴを掲載したカオスマップを制作。



カオスマップ

2024年度上半期の活動 CONSEO連携タスクフォース

日台宇宙経済共創WS

- ・開催日：2024年7月8日（月）
- ・主催：宇宙航空研究開発機構（JAXA）、台湾宇宙センター（TASA）
衛星地球観測コンソーシアム（CONSEO）
- ・後援：日本台湾交流協会、独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）
中華経済研究院（CIER）、台湾宇宙産業開発協会（TSIDA）

- 開会の挨拶（Opening Address）
- 講演（Lecture）
- 日台企業によるピッチセッション（Pitching Session）（※下線：CONSEO企業）
 - 日本側： アークエッジスペース、アクセルスペース、エレベーションスペース、GLODDAL、Green Carbon、インフォステラ、ispace、スカパーJSAT、スペースワン、Space BD、スターシグナル、ゼロボード
 - 台湾側： Aegiverse（スペースサイエンスと自動運転技術）、Phasetrum（フェーズドアレイ、ビームフォーミング分野の高性能半導体の設計）、Tensor Tech（人工衛星の誘導、航法、制御）、Ubiqconn（衛星通信向けモバイルソリューション）、YTTEK（情報通信）
- 閉会の挨拶（Closing Remarks）



日カンボジアスマートシティ交流シンポジウム

- ・開催日：2024年8月9日（木）
- ・共催：カンボジア国土省、国土交通省、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国際協力機構（JICA）

- 開会の挨拶
- 事例紹介
 - JAXA、国交省（都市局 国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推進室）、JICA、パスコ（株）、NTT データ（株）、アジア航測（株）（※下線：CONSEO企業）
- ALOS画像の引き渡し式



©カンボジア国土省

日カンボジア経済共創交流シンポジウム

- ・開催日：2024年8月7日（水）
- ・共催：日本貿易振興機構（JETRO）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ・特別協力：オクニヤ協会

- 開会の挨拶
- カーボンクレジットビジネスの紹介
- 主要産業セクタによるパネルディスカッション（※下線：CONSEO企業）
 - セッション1 農業セクタ
パネル登壇：サグリ（株）、GREEN CARBON（株）、アジア航測（株）
 - セッション2 林業セクタ
パネル登壇：（株）IHI/NEXT FOREST、SUSTAINACRAFT INC.、（株）Archeda
 - セッション3 工業セクタ
パネル登壇：IHI ASIA PACIFIC (THAILAND) CO., LTD.、（株）ゼロボード/ZEROBOARD、GOMI SOLUTIONS CO., LTD.
- 閉会の挨拶



©ジェトロ

©オクニヤ協会

©オクニヤ協会

©オクニヤ協会

©ジェトロ

モンゴル・イノベーション・ミッション

- ・開催日：2024年8月19日（月）～21日（水）
- ・主催/共催：（主催）ジェトロ（共催）JICA・JAXA・モンゴル日本人材開発センター
- ・後援：DX Mongolia、CONSEO

- 8/19 現地スタートアップ企業及び大手企業訪問を予定
日本モンゴルビジネスフォーラム（MICS2024）への参加
日モンゴル関係者間のネットワーキング

- 8/20 日モンゴル関連イベントの開催
現地有力企業等訪問
- 8/21 現地有力企業等訪問
ビジネスピッチ・ネットワーキングイベント



2024年度上半期の活動 アウトリーチ活動

ALOS-4打ち上げPV

「だいち 4号(ALOS-4)」の打上げを応援するイベントを開催。イベント予定日翌日の7月1日に打上げが延期となった為、打上げパブリックビューイングから打上げ応援“練習”イベントに、急遽プログラムを変更して実施。司会進行は CONSEO 広報アンバサダーの柗太一さんが務めた。お子様やご家族で参加可能なイベントを CONSEOで初めて開催した。

開催日 : 2024年6月30日(日) 10:30 - 12:30
 会場 : X-NIHONBASHI Tower
 参加者数 : 85名 (CONSEO会員/一般観客)
 司会進行 : 柗太一氏 (CONSEO広報アンバサダー)

- 10:30 - 10:45 コスモさんとこてつくんによる「人工衛星ってなあに？」 宇宙ナビゲーター・コスモさん
宇宙なんちゃら・こてつくん
- 10:45 - 10:55 衛星地球観測について CONSEO事務局(JAXA)・松尾尚子氏
- 10:55 - 11:10 ALOS-4に詳しくなれるお話 三菱電機(株)・岡田祐氏
- 11:10 - 11:50 ALOS-4が活躍することが楽しみになるお話 国土地理院・小林知勝氏
JAXA・大木真人氏
JAXA・安達美咲氏
JAXA・有川善久氏 (ビデオ出演)
- 11:50 - 12:30 ALOS-4打ち上げ応援
ALOS-4プロジェクトマネージャからのメッセージ



グッズ制作

ブルゾン(20枚)



キャンバスバッグ(300枚)



ストラップ(300本)



ステッカー(500枚)

